

## 七大学若手会年次総会・第8回講演会が東京で開催されました

2017年6月10日(土)、七大学若手会(2014年設立、会長 許志国(京都大学修士、以下 Jico 会長)) 第8回講演会(講師:株式会社リコー 現取締役会議長 稲葉延雄氏)が、東京永田町にて開催されました。本講演会は一般社団法人学士会との共催で、京都大学の後援、青島ビール社からの協賛を得ており、総勢41名(男性23名、女性18名)が参加しました。今年3月に若手会の役員に新任したばかりの李維佳氏が主担当、酒井裕人氏が副担当として担当役員を務めました。

学士会からは小堀事務局次長、村松課長にお越し頂きました。今回は学士会新規入会者に対して、七大学若手会がキャッシュバックキャンペーン(2,000円/人)を行い、2名の入会がありました。

年次総会では、Jico 会長より若手会の設立趣旨の説明がありました。若手会会則は若手会の「憲法」です。会則が含まれる設立趣旨について全ての若手会会員が熟読必須だと Jico 会長が再び強調しました。また、ぜひ多くの会員に積極的に幹事をして頂き、役員になって頂きたい希望を述べられました。

総会の後、稲葉氏が「政府の政策スローガンと企業戦略」をテーマとし、下記の内容を中心にご講演を頂きました。

- ・世界経済は回復し始め、小さな安定期に入ったものの地政学的リスク、政治リスクを含み続けている。経済人として企業を運営していくうえでも、自社の経済問題に加え、そのようなリスクを正しく認識し、行動していく必要がある。例えば、デフレ脱却などのスローガン政策はそもそも正しいのか? 自問自答する必要がある。
- ・AI に関していえば、AI が人の仕事を奪うことが懸念されているが、人の感情に依って支え、世界を温かくさせるような仕事はAI に奪われることがないだろう。

講演会の後、30分間のグループ討論があり、その後は30分間のQ&Aと90分間の懇親会がありました。

懇親会の余興では、ジェスチャーゲームが行われ、講師の稲葉先生も参加者の皆さんと一緒にジェスチャーゲームを楽しんでいました。講師を含んだ参加者が6つのチームに分かれて、チーム対抗戦が行われました。正解数、連携プレー、パス回数を評価項目として「最優秀賞」、「連携がよかったで賞」、「あきらめが早いで賞」を授与しました。最優秀賞を受賞したチームには表彰状以外、Jico 会長から全員に金メダルが授与されました。懇親会の後に、今回の幹事団全員一人一人の自己紹介と幹事を務めた感想を参加者の前で紹介して頂きました。多くの幹事が今回の幹事を務めてよかった、他の皆さんにもぜひ幹事を積極的にやりましょうと自発的な呼びかけがありました。

今回の講演会の雰囲気と設立趣旨に同感を得たか、講師の稲葉様はその場で若手会の賛助会員(年会費1万円)になりたい申し出がありました。これで若手会の賛助会員が4名となりました。

最後に、役員より今後の若手会案内がありました。次は七大学若手昼食会(東京・7月2日開催)、若手BBQ大会(東京・7月22日開催)等のイベントがあります。

二次会は講演会会場近くのオシャレなレストランで行いました。二次会には飛び込み参加者が複数おり、盛会のうち閉会しました。

七大学若手会ホームページ: <http://wakatekai.jp/>

七大学若手会経営陣一覧: <http://wakatekai.jp/7UYMS.pdf>

七大学若手会設立趣旨: <http://wakatekai.jp/7Uyushi.pdf>



講師稲葉延雄氏



設立趣旨を説明する Jico 会長



賛助会員杜様



京大若手会) 賛助会員桑原様



学士会小堀事務局次長



学士会村松課長



主担当役員李氏



副担当役員酒井氏



講演会風景



ジェスチャーゲーム中



今回の講演会の幹事団の自己紹介



2次会の様子

